

<input type="checkbox"/> 出張報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 会議議事録			番号	DB14-007		
			作成日	2014/1/15		
件名	2014年1月度研究部部内会議議事録		部課名	認可	審査	作成
			研究部	上森		孫崎
日時	2014/1/14(火) 15:00-17:00	場所	F C ・ 研究部会議室			
出席者	八木常務、上森部長、久田技術主幹、内田G長、西田M、佐藤G長、久野ラボ長、法龍院AM、孫崎 (記)					
議題、議事の趣旨、結論 (決定事項・要処置事項) 等						担当、期限
1. 共通 (1) 部門会議(1/24)の資料締切は1/20(月)です。研究開発費の13年度推定実績と14年度の予算も必要です。						各G長
2. 研究開発状況 2. 1基盤技術連携グループ (1) Northfinder ・開発契約の成果物(Deliverables)はSPP/SKKの両社共有となるのか?⇒はい。 ・あおみ建設はNF-CS1をどこから知ったのか?⇒SPPのホームページを見てです。						孫崎
(2) JAXA向けジャイロ開発 ・今年度の開発目標(ARW)は達成できそうか?⇒これから評価するデジタル制御回路の効果によりギリギリ達成できるかどうかです。 ・角型と丸型と言うが、大きさの違いもあるのでは?⇒それも含めて原因を調査中です。						西田M
2. 2新材料実用化グループ (1) ALM調査 ・EHA バルブハウジングの油路のクラックの問題は、形状変更での対応も検討すること。従来のボア加工と比較して設計の自由度が増している。このようなことが今後、設計ノウハウとなっていく。						佐藤G長
(2) HTCC ・黒鉛をメインフィラーとするとあるが、顕著な差はなかったのでは? コスト面も含めて、別途まとめること。 ・NEDO研究の脱ガス工程の5時間は長すぎないか?⇒まずは十分の時間で検証し、最適化は今後行う予定です。						
(3) 潜水艦複合材プロペラ ・H27年度艦からの採用を検討とあるが、リードタイムは問題ないか?⇒設計作業がH27年度からの開始予定ですので、問題ありません。						
(4) 脚材料のJAXAとの共同研究 ・解析と試験結果で50%の差は大きすぎる?⇒横関准教授は目処を持たれているようです。 ・まずはコスト評価を進めること。						
2. 3材料・プロセスリサーチラボ (1)研究業務進捗 ・マイクロクラックの封孔処理剤に関するメーカーとのNDAを急いで進めること。法務審査の前に知財Gの審査を受けること。 ・膜厚計のメーカーが撤退することはないか⇒メーカーで通常流れている部品を使用しており、突然に生産中止となることはないと考えます。						久野G長

配布先

各出席者

1

CONFIDENTIAL

本資料の内容に関わる全権利は、住友精密工業株式会社(SPP)に帰属するものであり、書面によるSPPの承諾なしで、配布の目的以外に本資料を流用・複製・第三者へ提示することを禁じます。



	<p>(2)他部門関連業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TE東扇島は水素の影響の可能性が高いとは？⇒ウォーターブラスト処理の過程で水素を取り込んでいる可能性があります。破断面の調査結果とも符合しています。 ・TE富津は溶接業者の作業中のスパークが原因とあるが、この溶接業者は SPP の外注か？⇒はい。認定を受けた業者なのか？⇒当然そのはずです。 <p>(3)分析定例業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水の検査は、今後も長期間見ていくこと。 <p>2. 4知財・技術管理グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境技術であるが、チューブ型オゾナイザのNDAは時期的に遅すぎるか。 ・中国商標の SUMITOMO の拒絶査定不服審判の役務に関するものとのことであるが、製品の方は問題ないか？⇒問題無さそうです。 <p>最後に、八木常務より、三菱マテリアルの熱交換器爆発事故に関連して、注意喚起がありました。</p> <p>※ 次回2月度部内会議(2/3 予定)の担当は内田G長</p>	<p>法龍院AM</p> <p>内田G長</p>
計	<p>関連文書類 2014年1月度研究部部内会議資料</p>	